

小学校国語科学習指導案

広島県立教育センター
指導主事 中島 早織

1 学年 第5学年

2 単元名

資料を用いた文章の効果を考えよう（「固有種が教えてくれること」光村図書「国語 五 銀河」）

3 単元観

本単元は、小学校学習指導要領（平成 29 年告示）国語第 5 学年及び第 6 学年〔知識及び技能〕（2）「イ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。」及び〔思考力、判断力、表現力等〕C 読むこと（1）「ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。」に基づいて設定するものである。

書き手の伝えたいことを正確に知るためには、書き手がどのようなことを伝えるために、どのように資料を活用しているのかという、書き手の意図を捉えていくことが重要である。したがって、文章の内容と資料を結び付け、必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりする力を育成することが必要である。

本単元で扱う教材「固有種が教えてくれること」の特徴は、地図やグラフ、年表といった多様な資料を提示し、筆者の論が展開されていることである。多様な資料を提示することによって、考えに対する説得力をもたせている。そのため、筆者の考えと資料を照らし合わせることで、筆者が資料をどのように効果的に活用しているかを捉えることができる。このことから、本教材は目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりする力を育成するのにふさわしい教材であると言える。

4 児童観

本単元に先駆けて、「生活の中で読もう 新聞を読もう」の単元において、新聞には、見出し、本文、写真、コラムといった多様な情報が掲載されていることを学んだ。この際、記事の内容をより分かりやすく、詳しく伝えるために写真等が添えられていることがあるということも学んでいる。

本年 6 月に行った学力調査では、目的を意識して、中心となる語や文を見付けることに課題が見られた。その理由として、文章の内容を端的に説明するという、要約する目的が意識できていなかったために、中心となる語や文を見付けることができなかったと考えられる。

5 指導観

児童に目標とする資質・能力を育成するために、指導に当たっては、次の工夫を行う。

① 学習の見通し

本単元では、「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付け、資料を用いた文章には、どのような効果があるかについて説明する」という言語活動を設定し、同じ文章を、図表などの資料があるものとないものを比較して読むことで、書き手が伝えたいことを正確に伝える上で、資料を根拠として効果的に活用し、自分の考えに説得力をもたせていることを実感させる。その上で、単元の目標と学習課題を共有し、学習の見通しをもたせる。

② ICTの活用

資料の効果を説明する際のメモは、タブレットを用いて作成させる。加筆・修正した箇所は色を変えさせたり、交流における評価や助言、交流を受けての加筆・修正した箇所はコメント機能を用い、変更した意図や理由を記入させたりするなどして、推敲の経緯が分かるようにする。それにより、児童が、自分の考えの変容を振り返ることができるようにする。

また、本単元では、「固有種が教えてくれること」における学びを活かし、「まもろう：日本の生きものたち 私たちにできること（環境省ホームページによる）」を用いて、書き手が資料をどのように効果的に活用しているかについて説明させる。その際、ICTを用いて、図表等の資料がある文章とない文章を作成させ、資料を用いた文章の効果について、考えをもち説明するという学習活動を設定する。

6 単元の目標

- 図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。

〔知識及び技能〕(2)イ

- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ウ

- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

7 言語活動

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付け、資料を用いた文章には、どのような効果があるかについて説明する活動。 (C読むこと(2)イに基づく)

8 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。	粘り強く、文章と図表などを結び付けて必要な情報を見付け、学習課題に沿って、資料を用いた文章の効果について説明しようとしている。

【思考・判断・表現における「おおむね満足できる状況」(B)の例】

本文には「日本に固有種が多いことは、同じように大陸に近いところにある島国イギリスと比べると、よく分かります」とあります。筆者は、この「島国イギリスと比べると、よく分かります」という考えを分かりやすく伝えるために、資料1を効果的に活用していると考えます。

なぜなら、資料1の地図から、日本とイギリスが、大陸から同じぐらいの距離にある島国であることが目に見えて分かるからです。また、資料1の国土面積には、日本が37.8万平方キロメートルであり、イギリスは24.3万平方キロメートルであると書かれていることから、日本とイギリスはそんなに大きさが変わらないことも分かります。

そのため、資料1があることで、筆者の「イギリスと比べると、よく分かります」という考えが伝わりやすくなり、筆者がなぜイギリスと比較したのかが分かります。場所も大きさも異なる国と比べるのではなく、よく似た場所、大きさのイギリスと比べたからこそ、固有種が多い日本の環境がイギリスと比べて特別なだと分かりました。

本文には「日本には、固有種がたくさん生息する豊かな環境があります」とあります。私は、イギリスの固有種がゼロだと知って驚きました。大陸からの距離や大きさなどがよく似ている日本とイギリスを比べたから、日本が、固有種の多い豊かな環境であることを実感できました。

これらのことから、資料を用いた文章には、筆者の伝えたいことを、具体的にイメージさせ理解しやすくすることで、正確に伝える効果があると考えました。

9 指導と評価の計画

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 同じ文章を、資料のあるものとなしものを比較して読み、資料の効果を実感する。 ○ 単元の目標や学習課題を確認し、学習の見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ文章を、資料のあるものとなしものを比較して読ませ、書き手が資料を効果的に活用していることを実感させることで、学習に対する必然性をもたせる。 	
		<p>〔学習課題〕</p> <p>筆者は、自分の考えを伝えるために、資料をどのように活用しているでしょうか。</p> <p>文章と資料を照らし合わせながら読み、筆者の伝えたいことを正確に捉えるために必要な情報を見付け、資料を用いた文章がどのような効果を生んでいるかについて説明しましょう。</p>	
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事実と意見の関係を、叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章全体を読み、筆者の意見が述べられている段落に着目して事実と意見の関係を押さえ、構成を把握するよう指示する。 ・ 筆者が取り上げている内容の中心となる事柄を把握することで、筆者が何を伝えようとしているのかを捉え、要旨を把握するよう指示する。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1～3段落から、本文の叙述と資料1を照らし合わせ、図示することによって情報を整理する。 ○ 図示することによって情報を整理する際のポイントをつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の叙述と資料1を照らし合わせ、同じ語句やよく似た意味を持つ語句、同じ事柄について述べている情報などを丸や四角で囲ませたりするなどして、図示させる。 ・ 図示した語句や情報を再度照らし合わせ、本文のどの叙述を資料のどの情報が詳しく説明したり、補ったりしているのかを捉え、矢印でつなげる。 ・ 複数の語句を丸や四角で囲んだり、語句と語句を線でつないだりするなどの手立てを示し、図示することによって情報を整理する際のポイントをつかませる。 	<p>〔知識・技能〕</p> <p>ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示することによって、語句と語句との関係を表したり、情報を整理したりしている状況を確認する。
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4段落以降を、本文の叙述と資料を照らし合わせ、図示することによって情報を整理する。 ○ 目的に応じて、文章と資料を結び付けて必要な情報を見付ける際のポイントをつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図示することによって情報を整理する際のポイントを活用させる。 ・ 必要な情報は、目的に応じて変わること、必要な情報を見付けるとは、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したりすることであることを理解させる。 	

5	<p>○ 1～3段落から、書き手の伝えたいことを知る上で、資料1がどのような効果を生んでいるかを考える。【本時】</p> <p>○ 論の進め方について考える際のポイントをつかむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者の伝えたいことを正確に知るために読むという目的を意識させる。 ・ 第3時において整理した情報から、筆者の伝えたいことを正確に知るために必要な情報を取捨選択させる。 ・ 資料1があるのとないのでは、どのような違いが生まれるかを考えさせ、資料1がどのような効果を生んでいるかを考えさせる。 ・ 論の進め方について考えるためには、筆者がどのような考えを伝えているのか、その考えを伝えるためにどのように理由や事例を用いているのかについて考える必要があることを理解させる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔思考・判断・表現〕 ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者の伝えたいことを正確に知るために読むという目的に応じて必要な情報を見付け、論の進め方について考えている記述の内容を確認する。 </div>
6	<p>○ 4段落以降の文章から、筆者の伝えたいことを知る上で、それぞれの資料がどのような効果を生んでいるかを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 論の進め方について考える際のポイントを活用させる。 	
7	<p>○ 前時における学習を基に、筆者が伝えたいことを正確に伝えるために、特に効果的に用いていると考える資料を選び、「資料を用いた文章にはどのような効果があるか」ということについて説明するためのメモを書く。</p> <p>○ グループで交流し、自分の考えに役立つものを取り入れ、下書きを加筆・修正する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者の考えの中心となる事柄を取り上げながら、筆者が特に効果的に資料を活用している点について、具体的に書くよう指示する。 ・ 本文の叙述と資料の情報の両方を取り上げて書くよう指示する。 ・ メモの作成はタブレットを用いて入力させる。 ・ 交流は次の観点を基に2回行う。 1回目：同じ資料を選択した児童同士 2回目：1回目の交流において、資料を用いた文章の効果についての考えに、共通点が見られる児童同士 ・ 交流では、学習課題に沿って、相手のいいところや改善するとよいところを見付けるよう促す。 ・ 交流における評価や助言を、コメント機能を用いて記録を残すよう指示する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔思考・判断・表現〕 説明のためのメモ (下書き・清書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的に応じて文章と資料を結び付け、必要な情報を見付け、論の進め方について考えている記述の内容を確認する。 </div>
8	<p>○ 交流による下書きの加筆・修正を基にメモの清書を書く。</p> <p>○ 資料を用いた文章の効果についての考えに、共通点が見られる児童同士によるグループで再度説明し合い、感想を述べ合う。</p> <p>○ グループの代表による発表を行い、資料の効果についての考えを学級全体で共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加筆・修正した箇所は色を変えたり、コメント機能で変更した意図や理由を記入させたりするなどして、推敲の経緯が分かるようにさせる。 ・ 前時による交流を基に、どのように加筆・修正したのかが分かるように説明するよう指示する。 ・ 「なるほど」「確かにそうだ」と思った点について感想を述べ合うように指示する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔主体的に学習に取り組む態度〕 メモの下書きから清書に至る推敲履歴 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の交流や、その後の修正において、学習課題に沿って、試行錯誤したり工夫したりしながら、資料を用いた文章の効果について説明しようとしているかを確認する。 </div>
9	<p>○ 「まもろう：日本の生きものたち 私たちにできること」を読み、要旨を把握する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者が伝えようとしている考えと、それを支える事例の関係に着目させ、要旨を把握させる。 	
10	<p>○ 効果について説明しようとする資料を1つ選び、ICTを用いて図表等の資料がある文章と</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な資料の中から、筆者の考えを伝える上で最も効果があると思われる資料を、資料の種類と提示の仕方を観点に選択させる。 	
11	<p>ない文章を作成する。</p>		

<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を用いた文章の効果について説明する文章を書き、交流する。 ○ 資料を用いた文章の効果を考える際のポイントを整理し、日常生活等において活用できる場面を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的に応じて、文章と資料を結び付けて必要な情報を見付ける際のポイントを活用させる。 ・ 論の進め方について考える際のポイントを活用させる。 	
---	--	--

10 本時の展開（第5時）

(1) 本時の目標

筆者の伝えたいことを正確に知るために読むという目的に応じて、本文と資料1を結び付けて読み、論の進め方について考えることができる。

(2) 準備物

ワークシート（上段に本文をまとめており、下段に資料を提示しているもの）

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への手立て	評価規準 評価方法等
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>筆者は自分の考えを適切に伝えるために、どのように資料1を用いているのかを捉え、論の進め方について考えをもとう。</p>		
<p>2 第3時で整理した情報を隣同士で交流し、第3時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ はじめに、第3時において、本文のどの叙述に線を引いたかを説明させる。 ・ 次に、資料1のどの情報が、その叙述を詳しく説明したり、補ったりしていると捉えたのかについて説明させる。 	
<p>3 本文と資料を結び付けて読む目的を理解する。</p> <p>4 第3時で整理した情報を比較し、筆者がどのような考えを伝えようとしているのかを捉える。</p> <p>5 4で捉えた考えをより適切に伝えるために、筆者が資料1のどの情報を事例として用いているのかを捉える。</p> <p>6 資料1の効果を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者の伝えたいことを正確に知るために読むという目的を意識させる。 ◆ 第1時の学習を振り返らせ、資料があるものとなないものではどのような違いがあるかを考えるよう指示する。 ・ 丸や四角で囲んだ語句や矢印でつないだ情報を、何度も繰り返し述べられていないか、同じ内容を別の言葉に言い換えて強調していないかといった点で比較し、軽重を判断させることで、筆者が重視している情報を捉えさせる。 ◆ ワークシートに図示した丸や四角、矢印を、数を基準に比較するよう指示する。 	
	<p>筆者の伝えたいことを正確に知る上で、資料1があるのとないのでは、どのような違いがあると考えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「本文のどの叙述と、資料1のどの情報が対応しているか」「自分の考える資料1の効果」の2点をワークシートに記入させる。 ◆ もしも資料1が無かったら本文のどの叙述が分かりにくく感じるかを考えさせ、本文の叙述に線を引かせる。 ◆ 資料1があることで、本文の叙述の、何が、どのように分かりやすくなるのかを具体的に考えさせ、筆者が資料をどのように効果的に用いているかを実感させる。 	

<p>7 ワークシートをペアで交流し、自分の記述を加筆・修正する。</p>	<p>「おおむね満足できる状況」(B)</p> <p>本文の「日本に固有種が多いことは、同じように大陸に近いところにある島国イギリスと比べるとよく分かります。」の、「同じように」「イギリスと比べるとよく分かります」という叙述と、資料1の、日本とイギリスの大陸との距離や、周りを海に囲まれていること、それぞれの国の大きさが対応している。</p> <p>資料1があると、距離や大きさが一目で分かり、筆者がなぜ日本とイギリスを比べるとよく分かって述べているのが分かった。地図があると、文章で書かれていることが具体的にイメージできて、理解しやすいため、筆者の伝えたいことが理解しやすい。</p>	<p>〔思考・判断・表現〕 ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の伝えたいことを正確に知るために読むという目的に応じて必要な情報を見付け、論の進め方について考えている記述の内容を確認する。
<p>8 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 論の進め方について考える際のポイントをつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 論の進め方について考えるためには、筆者がどのような考えを伝えているのか、その考えを伝えるためにどのように理由や事例を用いているのかについて考える必要があることを理解させる。 	